

11月の安心かわら版

11月の主な行事

3日	：	文化の日	15日	：	七五三
7日	：	立冬	22日	：	小雪
14日	：	埼玉県民の日	23日	：	勤労感謝の日



知ってる？ 竜巻から身を守る対策

竜巻とは

竜巻とは、積乱雲に伴い発生する、激しい渦巻きのことを指します。日本では、季節を問わず全国で発生しており、台風や寒冷前線等、積乱雲が発生しやすい気象条件では竜巻が発生しやすくなります。竜巻は、短時間で狭い範囲に集中して大きな被害をもたらすため、竜巻の予報や前兆等を確認したら、無理な外出はしないようにしましょう。

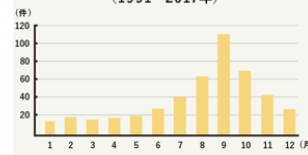
竜巻発生地域の分布図
(1961-2019年)



竜巻の覚えておくべき5つの特徴

- 1 竜巻は夜間より昼間に多く確認されており、11時～18時の間がピークといわれている。
- 2 竜巻の発生は、7月から11月にかけて多い傾向がある。
- 3 特に発達した巨大積乱雲「スーパーセル」は、強雨やひょうをもたらすことがある。
- 4 竜巻の移動スピードは、過去に時速約90キロメートルを記録したこともある。
- 5 日本の竜巻は数分～30分ほどで収まるものが多いが、海外では数時間におよぶものもある。

竜巻の月別発生確認数
(1991～2017年)



竜巻の前兆や避難方法を知る。竜巻に備えよう

事前準備 天候の変化を察知し、事前に危険を回避する

竜巻の発生源は「積乱雲」ですので、天候の変化に注意し、危険を回避しましょう。「雷鳴が聞こえる」「かなとこ雲が広がっている」「真っ黒い雲が近づく」「冷たい風が吹き出す」といった現象は、遠くに竜巻がある、または竜巻が近づいている可能性がありますので、室内への避難や車の保護を素早く行うようにしましょう。

事前準備 竜巻発生を知らせるアプリや予報を活用する

竜巻発生のアラート機能があるアプリや、気象庁が発表する「竜巻注意情報」、また激しい突風が発生しやすい地域の分布や1時間先までの予報を行っている「[竜巻発生確度ナウキャスト](#)」を活用すれば、竜巻の防災に役立てることができます。アプリや予報を確認し、外出を控えるなどして、竜巻の被害から身を守りましょう。

発災直後 竜巻から避難する

自宅にいるときは、窓が割れないように雨戸を閉め、トイレや浴室等、風通しの悪い場所へ避難しましょう。また、街中にいるときは頑丈な建物に入り、できる限り地下室や風が吹き込まない場所に避難してください。また、車を運転しているときは、交通の邪魔にならない場所に駐車し、ただちに頑丈な建物内へ避難しましょう。

事前準備 竜巻がもたらす降雹（こうひょう）に備える

竜巻はひょうをもたらすことがあります。普段、屋根のない場所に駐車することが多い車は、降雹（こうひょう）による被害に遭いやすいため、圧縮袋に入れた毛布等、車体を覆えるものをトランクに準備しておくなどして、車を守るための対策を取りましょう。ひょうに強いカーポートを建てるのも一つの手です。

秩父支店スタッフ ~よろしくお願ひします~



レジアスインプクト(株)秩父支店

chichibu@rezeous.co.jp

〒368-0024 埼玉県秩父市上宮地町26-21

TEL 0494-27-3210 FAX 0494-26-6555

事務所の電話番号も登録お願ひします！